

事業の内容及び効果に関する写真1



岡田ホンジュラス大使、保健副大臣、県保健事務所長、ダンリ副市長を迎え、妊婦の家開所式を開催。



完成した妊婦の家の外観。



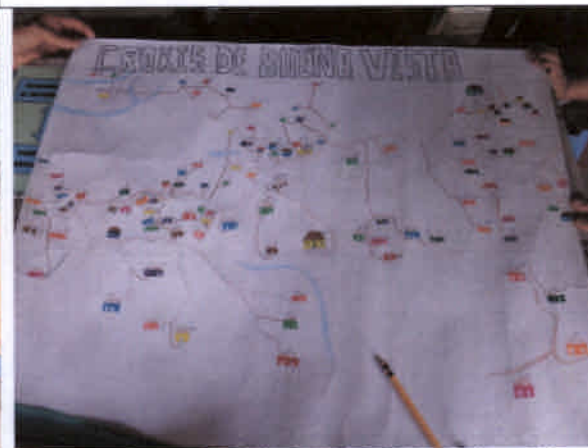
妊婦の家利用者の様子。



リナカ保健所所属村の緊急搬送委員会第1回フォローアップの様子。



村の地図を用い、妊婦の住む家をマッピングするオライネ村の緊急搬送委員会メンバー。



ブエナ・ビスタ村緊急搬送委員会が作成した、妊婦の家識別のための村地図。常に更新され、妊婦が村のどこに、何人いるかを把握するのに活用する。

事業の内容及び効果に関する写真 2



妊婦の家利用者の様子。同時に4人が出産した日。利用者同士で祝う。



ダンリ病院産科医によって行われた、病院スタッフ研修の様子。



ダンリ病院研修の様子。小児科医による新生児の蘇生術等について学ぶ看護師たち。



ベガス・デ・シアレス村にて、緊急搬送委員会の活動のフォローアップを行う事業スタッフ。



第3回コーディネート会合の様子。村の保健ボランティアからも活発な意見交換が行われた。



終了時評価に日本から赴いた担当者（左から3人目）が、ダンリ病院にて出産した妊婦の家利用者に、聞き取り調査を行った。